

2020年度 第1回若手交流会報告

日時：2020年10月17日（土）13：30～15：00

実施内容：オンラインオープンカフェ

実施概要：若手研究者同士のネットワークづくりをオンラインで行い、研究や博士論文、進路についてざっくばらんに話し合う機会を設け、情報交換を行った。

1. 企画と参加者募集について

6月13日・14日の異文化間教育学会41回大会における若手交流会の際に聞いた参加者からの要望や、若手交流委員同士の話し合いにより、「気軽に話しをできる機会を設けてはどうか」ということで、この企画を立ち上げた。当初、大学院生及びキャリア5年までの若手研究者に絞って募ったが、キャリア年数に関わらず参加者を募ることとした。

2. オンラインオープンカフェの実施について

当日は18名の参加者があった。前半のセッションでは、大学院生、キャリア5年未満、キャリア5年以上に分かれてのグループ、後半のセッションでは、博論・投稿論文、キャリア・進路、研究方法・研究手法に分かれてのグループでそれぞれGoogle Jamboardを使いながら情報交換を行った。

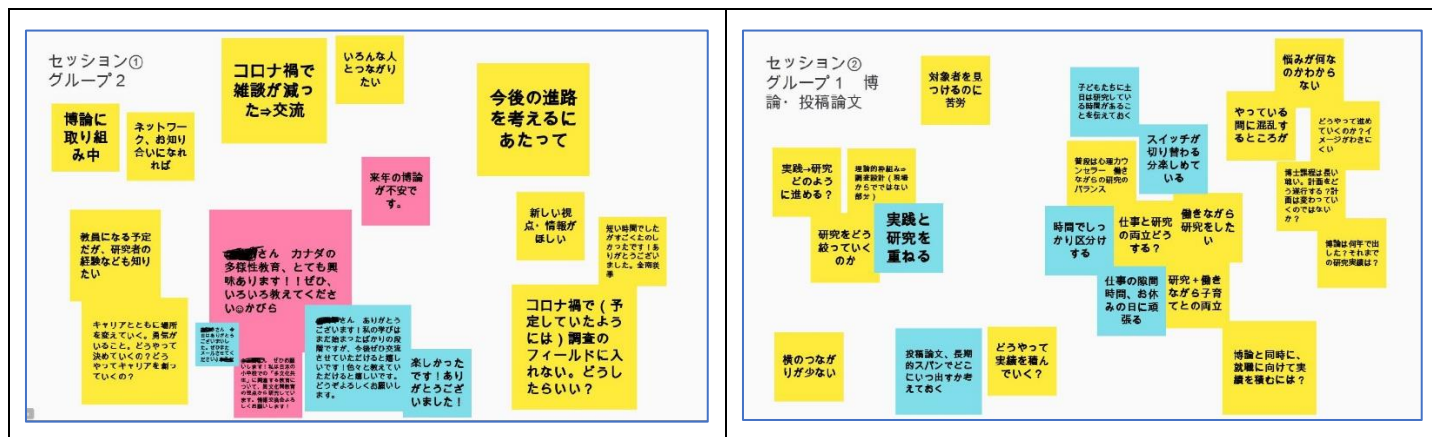
参加者からは、「時間が足りないほどだったが、同じような悩みを持つ方と話し合うことができよかった」という声が多く聞かれた。

3. 今後の活動にむけて

今回の企画では、短い時間ではあったが、「つながりができた」ということが参加者にとっても若手交流委員にとっても収穫であった。新型コロナウイルスの影響で学会や研究会で他の大学・大学院の若手研究者と知り合う機会が少なくなり、また、研究によってはフィールド調査ができず、研究方法を変えざるをえなかったりするなど、悩みを抱えてしまうことがあるなかで、このような機会を設けることができたのは有意義であったといえる。

そのため、オンラインで交流する企画は今後も継続して検討していきたい。

Google Jamboard を使った様子



(主担当：青木)